

群マネの実施方針(奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村、奈良県)

別紙1

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

技術者不足を「地域連携×橋梁包括PPP」で解決(橋梁メンテナンスの効率化、技術補完の実現)

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

インフラ分野	業務プロセス		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路			橋梁	橋梁	橋梁	橋梁(管理・支援)
			その他	その他	その他	その他
河川						
公園						
下水道						
その他						

■ R7年度 橋梁点検試行(宇陀市、曽爾村、御杖村の3市村)

■ R8~10年度 橋梁の一連管理(宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村の4市村)

* 上記の補足

<インフラ分野> 道路 : 橋梁

・R7年度は橋梁点検業務について小規模連携を行い試行をする。

・R8年度は1市3村による計画、点検、設計、工事(管理・支援)業務を、CM方式を活用した包括業務として共同発注を行う。業務期間はR8年度~R10年度の3年を想定

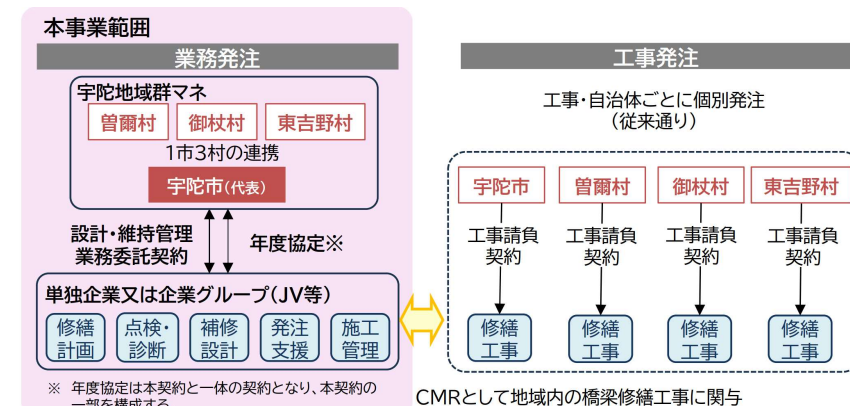
・R11年度以降は、業務期間を5年(橋梁点検周期が5年の為)で検討。また業務分野の拡大を視野に検討を行う。

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有 (3年、目標5年) ・ 無
- 性能規定の導入 : 有 (●●業務) ・ 無

(2) 自治体の束

1市3村が連携して橋梁維持管理業務委託をまとめて発注することにより、業務の効率化と技術の相互補完、維持管理の連続性向上による効果的なメンテナンスの促進を図る。



- 地方自治法上の共同処理制度の適用 : 有・無
- 連携協力道路制度の活用 : 有・無 (活用の検討を行う)

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒奈良県を含め、意見交換会や研修会を実施する。定例的な報告調整を含む勉強会を実施する。連携による人の交流を通じて、身近な相談先など自治体間の関係を醸成する。

② データ連携の具体メニュー

⇒データの連携・一元管理(DX)を活用することで、様々な事例等、データを蓄積・応用することが出来る。また情報共有システムの活用を行い、効率的な連絡体制を構築する。